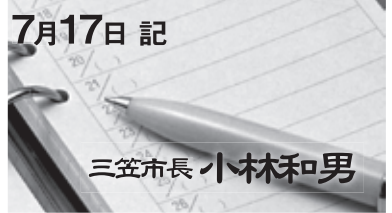


市長室

7月17日記



三笠市長 小林和男

異常気象と計画停電

市民の皆さん、毎日暑い日が続いていますがいかがお過ごしでしょうか。暑中お見舞い申し上げます。

先月、気象庁が発表した今夏の気象予報は「平年並み」というものでしたが、ここに来て全国各地で猛暑日が続いています。

九州北部を襲った豪雨は、せっかく水害の後始末を終えてホッとしたところにさらなる大雨が襲い、しかも、1時間に100mmを超える雨量です。これはもう完全に「異常気象」といえるのではないのでしょうか。

また、今日の新聞によると海水温が高いせいなのか、我々の食卓を飾るホッケやサンマが今年は大変な不漁であり、ウナギも世界的に不足

しているらしく、これもまた「異常気象」の仕業なのでしょうか。

さて、日本の電力のエネルギー源の25%を賄っていた原子力発電所は「東京電力の福島第1原子力発電所の事故」以来、再稼働した大飯原子力発電所を除いて、すべて停止しています。

北海道唯一の原子力発電所である「泊原子力発電所」も停止したままであり、北海道電力はこの夏場の電力不足を何とか乗り切るために、「計画停電」を7月23日から9月14日まで実施するための準備をしています。

市内でも何カ所か計画停電の対象地区になるところがありますので市民の皆さんも事前に確認していただきたいと思えます。何かありましたら北電か市役所にお問い合わせをしていただきたいと思います。

ただ、この夏を道民の皆さんの努力によって計画停電を回避したとしても冬が心配です。なぜなら、北海道は積雪寒冷地域であり、夏より冬の電力需要が多いのです。

皆さんの生活を考えてみてください。恐らくこの家庭も冬場は1日中暖房を使っているのではないのでしょうか。そうすると当然電力不足になり大規模な計画停電も実施

しなければならぬ事になります。ですから、そうした事にならない

ためにも、日常的な節電に努めなければならぬと思えます。一人一人の節電量はわずかでも、道民一人一人が努力することによって、計画停電を回避できると思えます。

我が家の節電対策として、1階の照明器具をすべてLEDに交換したところ、昨年の電気料金の85%に抑えることができました。また照明器具を取り替えなくても、テレビの電源を小まめに切ったり、冷蔵庫の開け閉めを減らすなど、ちよつとした努力をすることによって、節電をすることは可能です。

小さなことから、まずはみんな実践してみようではありませんか。

さて、話は変わりますが、今年で第11回目を迎える「三笠北海盆おどり」を今月の14日、15日に中央公園で開催いたします。昨年はあいにくの大雨でしたので、今年は好天に恵まれることを切に望んでいます。特に15日にはステージショーや花火大会のほか、メインイベントである仮装盆おどりを開催いたしますので、ご家族やご親戚をお誘いの上、ぜひ会場にお越しください。そして踊りの輪を大いに増やしましょう。

敬老祝い 温泉入浴券を交付

市では9月の敬老月間に合わせ、高齢者の健康づくりと生きがいのある生活を援助する目的で、高齢者の方を対象に市内の温泉施設を無料で利用できる入浴券を交付します。

【問合せ先】

ふれあい健康センター福祉係 ☎③2010

【対象者】9月1日現在、70歳以上で三笠市に住所を有する方

【交付枚数】1枚(1枚で2人利用できます)

【交付時期】8月下旬(市職員が自宅などにお届けします)

【利用できる温泉】

▶三笠天然温泉 太古の湯(岡山) ☎②8700

▶湯の元温泉旅館(桂沢) ☎⑥8518

【有効期間】9月1日(出)～平成25年3月31日(日)

【注意事項】①入浴の際は必ず入浴券を提出してください。②入浴券は他に譲渡できません。③市外に転出した場合は使用できません。

紅白まんじゅうとタオルに交換できます

温泉入浴券にかえて、後日、紅白まんじゅうとタオルのセット品に交換もできますので、希望される方は訪問した市職員にお申し付けください。